

製品名: MAD2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13553**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA,IP |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000,IP 1:200-1:500 |
| 分子量 | 25kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | MAD2L1 |
| 別名 | MAD2L1; MAD2; Mitotic spindle assembly checkpoint protein MAD2A; HsMAD2; Mitotic arrest deficient 2-like protein 1; MAD2-like protein 1 |
| 遺伝子 ID | 4085.0 |
| SwissProt ID | Q13257 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト MAD2L1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140 |

背景

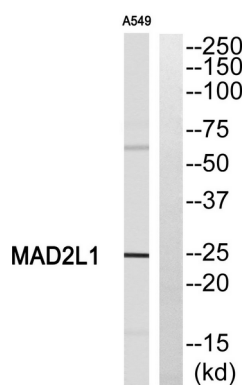
MAD2L1 は、有糸分裂紡錘体組み立てチェックポイントの構成要素であり、すべての染色体が中期板で適切に整列するまで後期の開

始を阻止する。MAD2L1 は、1 番染色体に位置する MAD2L2 遺伝子と関連している。MAD2 の擬似遺伝子は 14 番染色体にマッピングされている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],domain: このタンパク質は、大きく異なる 2 つの天然構造、すなわち CDC20 に結合できず細胞質単量体で優勢となる不活性なオープン構造と、活性なクローズド構造を有する。クローズド構造のタンパク質は、オープン構造の別の分子と優先的に二量体を形成するが、クローズド構造の分子とも二量体を形成する。閉じた構造の MAD1L1 分子と MAD2L1 分子を含むヘテロ四量体コア複合体の形成は、開いた構造の MAD2L1 の別の分子の結合と、開いた形態から閉じた形態への変換を促進し、それによって CDC20 との相互作用を促進します。機能:中期板ですべての染色体が正しく整列するまで後期の開始を防ぐスピンドルアセンブリチェックポイントの構成要素。キネトコア-スピンドル接着のプロセスを監視し、中期板ですべての染色体が整列するまで CDC20 を隔離することにより後期促進複合体の活性を阻害する有糸分裂チェックポイントの実行に必要です。PTM: 複数のセリン残基がリン酸化されています。リン酸化レベルは細胞周期中に変化し、有糸分裂中に最も高くなります。リン酸化により MAD1L1 との相互作用が消失し、CDC20 との相互作用が減少します。類似性:MAD2 ファミリーに属します。類似性:1 つの HORMA ドメインを含みます。細胞内局在:MAD1L1 によって未結合動原体にリクルートされます (おそらく)。間期に TPR によって核膜孔複合体にリクルートされます。サブユニット:モノマーおよびホモダイマー。MAD1L1 とヘテロテトラマーを形成します。MAD1L1 と MAD2L1 をそれぞれ 2 分子ずつ含むヘテロテトラマーコア複合体の形成により、別の MAD2L1 分子が各 MAD2L1 に結合し、ヘテロヘキサマーが形成されます。CDC20、MAD2L1BP、および ADAM17/TACE と相互作用します。閉じた構造のダイマー MAD2L1 は CDC20 と相互作用します。開いた構造の単量体 MAD2L1 は CDC20 と相互作用しない。CDC20 は MAD2L1 との結合において MAD1L1 と競合する。TPR と相互作用する。

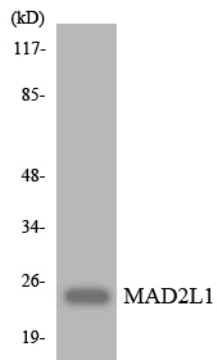
研究分野

Cell_Cycle_G1S;Cell_Cycle_G2M_DNA;卵母細胞減数分裂;プロゲステロンによる卵母細胞成熟;

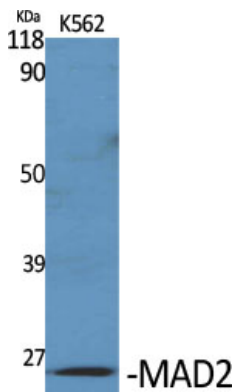
画像データ



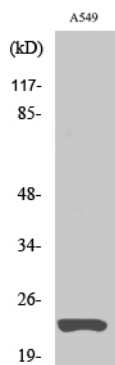
MAD2L1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーン は MAD2L1 ペプチドでブロッキングされている。



MAD2L1 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



MAD2 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



MAD2 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析